



平成27年2月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成26年10月2日

上場会社名 米久株式会社 上場取引所 東
 コード番号 2290 URL http://www.yonekyu.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 宮下 功
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 青柳 敏文 TEL 055(929)2797
 四半期報告書提出予定日 平成26年10月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年2月期第2四半期の連結業績（平成26年3月1日～平成26年8月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年2月期第2四半期	74,711	8.0	2,285	—	2,225	—	1,528	—
26年2月期第2四半期	69,162	△1.2	137	—	74	—	△158	—

(注) 包括利益 27年2月期第2四半期 1,363百万円 (133.3%) 26年2月期第2四半期 584百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年2月期第2四半期	60.24	—
26年2月期第2四半期	△6.25	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
27年2月期第2四半期	67,697	38,256	56.4	1,506.01
26年2月期	62,834	37,349	59.4	1,470.02

(参考) 自己資本 27年2月期第2四半期 38,205百万円 26年2月期 37,292百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年2月期	—	0.00	—	18.00	18.00
27年2月期	—	0.00	—	—	—
27年2月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成27年2月期の連結業績予想（平成26年3月1日～平成27年2月28日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	150,000	4.1	3,700	86.0	4,200	128.6	2,700	201.2	106.43

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 - 社（社名 -）、除外 - 社（社名 -）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年2月期2Q	28,809,701株	26年2月期	28,809,701株
② 期末自己株式数	27年2月期2Q	3,440,937株	26年2月期	3,441,048株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年2月期2Q	25,368,721株	26年2月期2Q	25,368,885株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点においては、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、本資料に記載した予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済政策の効果を背景に、企業の収益改善や株式相場の上昇など、緩やかな回復基調が見られましたが、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減や円安の進行等もあり、景気の先行きに懸念が残る状況にあります。

食肉加工品業界におきましては、食肉相場は引き続き前年同期を上回る水準で堅調に推移いたしました。一方で、原材料価格が高騰し、収益の圧迫要因となりました。今後も、原材料・副原料の仕入価格の高止まりに加え、電気・ガス等のユーティリティ費用や物流費の増加などが予想され、経営環境は楽観できない状況が続いております。

このようななか、当社グループは、本年4月に第5次中期経営計画を一部見直し、「中食・外食市場向け対応力の強化」「量販市場向け対応力の強化」「技術力・独自性の追求」「製造拠点の再編・新設、製造能力の増強」「販売体制の再構築」「食肉事業の強化」「物流・管理体制の見直し、損益管理の徹底」等の課題にグループ全体で取り組んで参りました。昨年からの原材料価格の大幅な上昇が続いているものの、生産性の改善、物流の効率化、リスク管理の徹底等の推進によって収益力が向上、食肉相場の高値推移も加わり、利益は大幅に増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は747億11百万円（前年同期は691億62百万円）、営業利益は22億85百万円（前年同期は1億37百万円）、経常利益は22億25百万円（前年同期は74百万円）、四半期純利益は15億28百万円（前年同期は1億58百万円の損失）と増収増益となりました。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

<加工品事業>

ハム等は、主力商品のベーコンに加え、焼豚やローストポークなどが好調に推移しました。ソーセージは、主力コンシューマ商品「御殿場高原あらびきポーク」が伸長、また、デリカは、トンカツ・春巻・ロールキャベツ等の販売が増加いたしました。

以上の結果、加工品事業は、売上高が308億10百万円（前年同期は292億7百万円）と増加、営業利益は10億20百万円（前年同期は2億68百万円）と大幅に増加いたしました。

<食肉事業>

食肉相場が前年同期を上回る水準で推移し、生産事業の収益が高まりました。また、「六穀豚」や「大地のハーブ鶏」などのブランドミートの拡販、一次加工品「マザーシェフ」の販売促進、採算性を重視した営業活動等に注力した結果、収益性も向上いたしました。

以上の結果、食肉事業は、売上高が429億59百万円（前年同期は389億2百万円）と増加、営業利益は13億46百万円（前年同期は1億40百万円の損失）と大幅に改善いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産額は、前連結会計年度末に比べ48億63百万円増加（7.7%増）して676億97百万円となりました。これは売掛金やたな卸資産が増加したことなどによるものであります。

負債合計額は、前連結会計年度末に比べ39億56百万円増加（15.5%増）して294億40百万円となりました。これは買掛金や未払法人税等が増加したことなどによるものであります。

純資産額は、前連結会計年度末に比べ9億7百万円増加（2.4%増）して382億56百万円となりました。これは配当金を支払った一方、四半期純利益の増加に伴い利益剰余金が増加したことなどによるものであります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ20億10百万円減少し、92億19百万円となりました。

活動ごとのキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金は6億91百万円の支出（前年同期は14億31百万円の支出）となりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上や、仕入債務が増加した一方、当第2四半期連結会計期間末が金融機関の休業日であったことに伴い売上債権の決済が第3四半期連結会計期間となったことや、たな卸資産が増加したことなどによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金は6億37百万円の支出(前年同期は21億49百万円の支出)となりました。これは有形及び無形固定資産の取得などによるものであります。

以上の結果、営業活動及び投資活動によるキャッシュ・フローの合計であるフリー・キャッシュ・フローは13億28百万円のマイナスとなりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金は6億69百万円の支出(前年同期は6億26百万円の支出)となりました。これは借入金の返済や配当金の支払などによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、平成26年8月4日に公表した通期連結業績予想につきまして、以下のように修正いたします。

■平成27年2月期通期連結業績予想数値の修正(平成26年3月1日～平成27年2月28日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	150,000	3,200	3,650	2,300	90.66円
今回修正予想(B)	150,000	3,700	4,200	2,700	106.43円
増減額(B-A)	—	500	550	400	
増減率	—	15.6	15.1	17.4	
(ご参考)前期実績 (平成26年2月期)	144,154	1,989	1,837	896	35.33円

将来に関する記述等についてのご注意

この決算短信に記載されている計画や業績予想などの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその達成をお約束する趣旨のものではありません。実際の業績などは事業等のリスクを含む様々な要因によって、この決算短信に記載されている計画や予想と大きく異なる結果となる可能性がありますので、本資料のみに全面的に依拠して投資判断を下すことはお控えください。なお当社は、法令又は金融商品取引所の規則で義務付けられている場合を除き、将来における情報、事象及びそれらに起因する結果にかかわらず、業績予想などの将来に関する記述を常に見直して公表するとは限りません。また当社はそのような義務を負うものではありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,340	9,324
受取手形及び売掛金	14,880	20,377
商品及び製品	4,682	5,811
仕掛品	906	1,017
原材料及び貯蔵品	1,953	2,450
その他	971	939
貸倒引当金	△3	△5
流動資産合計	34,731	39,916
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,569	8,369
土地	8,319	8,110
その他(純額)	3,432	3,609
有形固定資産合計	20,321	20,089
無形固定資産		
のれん	714	634
その他	665	591
無形固定資産合計	1,380	1,225
投資その他の資産		
その他	6,425	6,480
貸倒引当金	△25	△13
投資その他の資産合計	6,400	6,466
固定資産合計	28,103	27,781
資産合計	62,834	67,697
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	17,859	20,589
短期借入金	450	325
未払法人税等	510	921
賞与引当金	627	803
その他の引当金	—	13
その他	3,969	4,738
流動負債合計	23,416	27,391
固定負債		
長期借入金	75	—
退職給付引当金	489	509
その他の引当金	118	52
その他	1,384	1,486
固定負債合計	2,067	2,048
負債合計	25,484	29,440

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (平成26年2月28日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,634	8,634
資本剰余金	8,375	8,375
利益剰余金	21,716	22,788
自己株式	△2,738	△2,738
株主資本合計	35,988	37,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	502	589
繰延ヘッジ損益	36	18
為替換算調整勘定	765	537
その他の包括利益累計額合計	1,304	1,145
少数株主持分	57	51
純資産合計	37,349	38,256
負債純資産合計	62,834	67,697

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
売上高	69,162	74,711
売上原価	60,159	63,633
売上総利益	9,003	11,078
販売費及び一般管理費	8,865	8,792
営業利益	137	2,285
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	8	9
賃貸不動産収入	48	22
受取補償金	54	—
その他	124	125
営業外収益合計	236	159
営業外費用		
支払利息	8	6
賃貸不動産費用	45	17
持分法による投資損失	225	185
その他	20	10
営業外費用合計	299	220
経常利益	74	2,225
特別利益		
持分変動利益	—	272
補助金収入	15	—
特別利益合計	15	272
特別損失		
固定資産除却損	102	28
減損損失	—	25
固定資産売却損	15	—
厚生年金基金特別掛金	12	—
特別損失合計	131	53
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40	2,444
法人税、住民税及び事業税	256	875
法人税等調整額	△136	46
法人税等合計	119	922
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△160	1,522
少数株主損失(△)	△1	△6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△158	1,528

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成25年3月1日 至 平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成26年3月1日 至 平成26年8月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△160	1,522
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	130	86
繰延ヘッジ損益	△50	△17
為替換算調整勘定	107	△38
持分法適用会社に対する持分相当額	558	△189
その他の包括利益合計	744	△158
四半期包括利益	584	1,363
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	586	1,369
少数株主に係る四半期包括利益	△1	△6

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△40	2,444
減価償却費	1,009	980
減損損失	—	25
のれん償却額	92	80
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△1	△9
受取利息及び受取配当金	△9	△11
持分変動損益(△は益)	—	△272
受取保険金	△22	△19
補助金収入	△15	—
受取補償金	△54	—
支払利息	8	6
持分法による投資損益(△は益)	225	185
有形及び無形固定資産除却損	102	28
投資有価証券売却損益(△は益)	△1	△1
売上債権の増減額(△は増加)	△3,687	△5,506
たな卸資産の増減額(△は増加)	△665	△1,738
仕入債務の増減額(△は減少)	1,159	2,732
未払消費税等の増減額(△は減少)	△120	260
その他	498	542
小計	△1,522	△272
利息及び配当金の受取額	9	36
保険金の受取額	95	19
補助金の受取額	153	—
補償金の受取額	54	—
利息の支払額	△9	△6
法人税等の支払額	△212	△466
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,431	△691
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△1,714	△897
有形及び無形固定資産の売却による収入	21	237
投資有価証券の取得による支出	△12	△12
投資有価証券の売却による収入	12	11
貸付けによる支出	△280	△0
貸付金の回収による収入	0	0
その他	△176	23
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,149	△637
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	—	△50
長期借入金の返済による支出	△154	△150
配当金の支払額	△454	△455
その他	△17	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	△626	△669
現金及び現金同等物に係る換算差額	65	△11
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,141	△2,010
現金及び現金同等物の期首残高	10,154	11,229
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,012	9,219

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年3月1日 至平成25年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	29,207	38,902	68,109	1,053	69,162	—	69,162
セグメント間の内部売上高又は振替高	59	6,875	6,934	—	6,934	△6,934	—
計	29,266	45,777	75,044	1,053	76,097	△6,934	69,162
セグメント利益又は損失(△)	268	△140	127	10	137	—	137

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及び飲料の製造販売事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自平成26年3月1日 至平成26年8月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	加工品事業	食肉事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	30,810	42,959	73,770	940	74,711	—	74,711
セグメント間の内部売上高又は振替高	35	7,943	7,979	—	7,979	△7,979	—
計	30,846	50,903	81,749	940	82,690	△7,979	74,711
セグメント利益又は損失(△)	1,020	1,346	2,367	△82	2,285	—	2,285

(注1) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外食事業及び飲料の製造販売事業を含んでおります。

(注2) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産の減損損失につきましては、重要性が乏しいため記載を省略しております。